

6月のできごと

快適に過ごすことができる美しいまちに



▲富士南小学校児童による活動紹介

美しいまちづくりの日

6月1日 市内各所

市は、今年度から、「富士市マナー条例」の施行日であり、環境月間の初日である6月1日を「美しいまちづくりの日」としました。

この日、道の駅「富士」で啓発キャンペーンを実施し、広告塔のお披露目や啓発品配布のほか、富士南小学校児童による「美しいまちづくりの日活動紹介」などが行われました。

快適な生活を送るために、日ごろから美化活動に取り組み、市全体でまちをきれいにしていきたいと思います。

建設工事の安全を願う

▲清祓之儀
鍬入れをする小長井市長▶

新環境クリーンセンター建設工事
安全祈願祭 6月24日 大淵地先

新環境クリーンセンター建設工事安全祈願祭が、工事受注者である川重・石井・井出特定共同企業体主催で行われました。祈願祭には、地域住民、県議会議員、市議会議員、市関係者、工事関係者など約60人が出席し、工事の安全を祈願しました。

この建設工事は、ごみ焼却機能とリサイクルセンター機能のほか、環境学習・環境啓発機能を有した複数の建物を建設する工事で、敷地面積は約7・5ヘクタール。平成32年10月の稼働を目指しています。

「いただきへの、はじまり」を胸に頑張る、富士青春市民を紹介しします！

第3回

伝えたい！「未来に向けての富士の恵み」

自営業 市川 博康さん (57歳・今泉)

富士山が写っている古絵葉書を趣味で集めています。郷土史の文面からは読み取ることができない新しい発見や、当時の情景や音、においがよみがえる感覚に魅了され、約10年前から集め始めました。その古絵葉書をもとに、郷土の歴史を調べています。

古絵葉書の中に写る人々は、景色も街並みも現代とは全く違う中を生きています。しかし、富士山の懐に抱かれ、富士山の恵みを受けて生活している様子や恩恵は、今も昔も今

後も変わりません。

この普遍的な富士山の恵みと郷土のよさを、多くの人に知ってもらいたいという思いが募り、ことし5月に小冊子「百年前の東海道吉原宿」を発行しました。

今後も、古絵葉書を通じて、富士山の恵みのすばらしさを伝え続け、皆さんに郷土愛を感じてもらえたらうれしいです。

小冊子「百年前の東海道吉原宿」は、右の二次元バーコードからPDFでごらんいただけます。



青春市民No.829の市川さん



市川さんが所有する中で、一番古い絵葉書（明治35年元日）